

減らせ、突然死 AED 推進フォーラム 2026

協賛金募集趣意書



公益財団法人 日本 AED 財団

減らせ突然死 AED 推進フォーラム 2026

協賛金募集趣意書

謹啓

時下、皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本で AED が一般市民にも使用できるようになってから、すでに 20 年を超えました。その間、AED によってこれまで 9,000 人以上の貴重な命が救われています。医療の専門家ではない市民が街中での突然死から人命を救うことができるようになったことは、医学史上極めて重要なパラダイムシフトといえます。

そして大切なのは、救える命をいかにして確実に救うかということです。AED で止めることができる心室細動は、倒れてからの時間との闘いです。5 分以内に電気ショックを行えば約半分の命が救えます。駅や会社などの施設では、日頃の訓練と備付けの AED により 3 分以内のショックが可能であり、7 割近くの命を救える可能性があります。一方、路上のような公共の場では、周囲の人による即座の胸骨圧迫、AED の迅速な確保と使用、そして見知らぬ人同士の連携が不可欠です。

昨年、関西・大阪万博の会場では、AED が素早く利用されることで複数の人命が救われました。これは AED へのアクセス向上、市民の救命教育、そしてそれらを有機的につなぐデジタル技術の活用で、実際に命が救えることを証明しています。このような好事例を全国に広げることが、救命率向上の鍵となります。

今年の AED 推進フォーラムでは、「AED で命を救える社会の実現に向けて～日本 AED 財団設立から 10 年～オールジャパンで進める仕組みづくり」をテーマとします。実際に救命された方、その家族、また救助者として人命を救った方々の生の声を聞き、学校、スポーツ、社会全体の場面において、いかにして体系的に AED を活用し、より多くの命を救える環境を構築できるかについて、深く議論してまいります。School、Sports、Social の視点から、公共の場での救命体制の整備と市民啓発を推し進めたいと考えています。

救える命を救うことが当たり前の社会へ。このビジョンの実現には、医療従事者、行政機関、スポーツ関係者、企業、そして市民一人ひとりの協力が不可欠です。また近年、企業には ESG 経営や SDGs への具体的な取り組みが求められております。突然死の予防と救命環境の整備は、「すべての人に健康と福祉を（SDG3）」に直結する社会課題であり、本フォーラムは企業、市民、医療、行政が連携して取り組む社会的価値創造の場となります。

本フォーラムを通じて、全ての関係者が一堂に会し、突然死ゼロ社会の実現に向けた具体的な方策を共有し、社会全体で救命文化を育てていきたいと考えています。

つきましては、本フォーラムの趣旨にご賛同いただき、突然死予防と救命文化のさらなる発展に向けた活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本フォーラムへのご参画は、企業の社会的責任（CSR）活動にとどまらず、社会全体で命を守る仕組みづくりへの参画として、大きな意義を持つものと考えております。

皆様とともに「AED で命を救える社会」の実現を目指してまいりたいと存じます。何卒格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様のご協力により、AED で命を救える社会の実現をとに進めることができれば、これ以上の喜びはございません。何卒ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

2026 年 9 月吉日

公益財団法人 日本 AED 財団

理事長 三田村 秀雄

目次

減らせ突然死 AED 推進フォーラム 2026 開催概要	P. 3
減らせ突然死 AED 推進フォーラム 収支予算内訳書	P. 7
協賛金の募集について	P. 8
協賛金申込書	P.11

【 減らせ突然死 AED 推進フォーラム 2026 開催概要 】

テ ー マ : AED で命を救える社会の実現に向けて

～日本 AED 財団設立から 10 年～ オールジャパンで進める仕組みづくり

開 催 日 : 2026 年 12 月 8 日(火) 13:00~16:00

開催場所 : 日経ホール (東京都千代田区大手町 1 丁目 3 - 7 日経ビル 3 階)

開催目的 :

日本では AED が一般市民にも使用可能となってから 20 年以上が経過し、多くの尊い命が救われてきました。しかしながら、突然の心停止が発生した際に、誰もが迅速かつ適切な救命行動を起こすことのできる社会の実現には、なお多くの課題が残されています。AED の設置拡大に加え、市民による救命行動の促進、教育の充実、そして救命を支える社会的な仕組みづくりが求められています。

本フォーラムでは、実際に救命された方やそのご家族、救助者の経験を共有するとともに、医療、教育、スポーツ、行政、企業、市民など多様な関係者が集結し、AED を活用した救命体制の現状と課題について理解を深めます。

また、日本 AED 財団が推進する「School」「Sports」「Social」の 3 つの領域における取り組みを通じて、救える命を確実に救うための仕組みづくりについて議論し、社会全体で救命文化を醸成するための具体的な方策を発信します。

さらに、日本 AED 財団設立 10 周年の節目にあたり、これまでの歩みと成果を広く社会と共有するとともに、「AED で命を救える社会」の実現に向けた新たなビジョンを示し、次世代へと受け継がれる救命文化の創造と社会実装を推進するための提言を発信することを目的として開催いたします。

プログラム (仮) :

13時00分 開会の辞

13時10分 I. 私たちが経験したこと

明日香からのメッセージ

救命されて20年。今、伝えたいこと

救助者になって感じたこと

13時45分 II. 日本AED財団が進める3つのS 現状と課題

1. 学校での心臓突然死ゼロを目指して (School)

2. スポーツ中の心臓突然死ゼロを目指して (Sports)

3. 全ての場所でAEDが届き、使われる社会へ (Social)

14時25分 休憩

14時45分 III. パネルディスカッション

テーマ: ~日本AED財団 次の10年に向けて~

『みんなで進める』AEDで命を救える社会

15時35分 IV. 功労賞授与式

15時55分 閉会の辞

■日本 AED 財団 名誉総裁・会長・理事長・理事・監事・評議員・顧問・AED 大使 名簿 (2026 年 7 月末日現在)

名誉総裁	高円宮妃殿下	
会長・理事	岡本 保	一般財団法人 自治体国際化協会 相談役 元 総務事務次官、元 総務省消防庁 長官
理事長・代表理事	三田村 秀雄	国家公務員共済組合連合会 立川病院 名誉院長 元 慶應義塾大学心臓病先進治療学 教授
常務理事・業務執行理事	武田 聡	東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座 主任教授 特定非営利法人 愛宕救急医療研究会 理事(事務局長)
業務執行理事・実行委員会 担当	石見 拓	京都大学大学院 医学研究科 予防医療学分野 教授 特定非営利法人 大阪ライフサポート協会 副理事長
業務執行理事・事務局長	佐藤 謙一	セコム株式会社 執行役員
理事	飯沼 誠司	一般社団法人 アスリートセーブジャパン 代表理事
	尾崎 春樹	学校法人 目白学園 理事長 元 文部科学省国立教育政策研究所 所長
	桐淵 博	元 さいたま市教育委員会 教育長
	坂本 哲也	昭和病院企業団 企業長 公立昭和病院 院長 帝京大学医学部 名誉教授・客員教授
	副島 京子	杏林大学医学部付属病院 循環器内科 教授
	館林 牧子	江戸川大学 マス・コミュニケーション学科 教授 読売新聞東京本社 イノベーション本部 特約嘱託
	田中 秀治	国土舘大学大学院 救急システム研究科 研究科長 国土舘大学 スポーツ医科学科 教授
	野田 博明	元 株式会社みずほホールディングス 監査役
	二川 一男	元 厚生労働事務次官 元 東レ 株式会社 社外取締役
	村井 満	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 名誉顧問(第 5 代チェアマン) 公益財団法人 日本バドミントン協会 会長
監事	飯島 歩	弁護士法人 イノベンティア 代表社員
	安原 敬裕	一般社団法人 全国自動車標板協議会 会長 元 国土交通省 関東運輸局長
評議員長	清家 篤	日本赤十字社 社長
評議員	草野 満代	フリーアナウンサー 公益財団法人 日本テニス協会 理事
	古賀 信行	元 野村ホールディングス株式会社 取締役会長 NHK 経営委員会 委員長

評議員	藤原 章夫	前 文部科学事務次官 文部科学省 顧問
	松本 吉郎	公益社団法人 日本医師会 会長
	向井 千秋	東京理科大学 特任副学長 宇宙飛行士医師・医学博士
特別顧問	佐藤 禎一	元 文部事務次官、元 ヌネスコ日本政府代表部 特命全権大使
顧問	安藤 隆春	元 警察庁長官
	遠藤 安彦	一般財団法人 地域創造 顧問 元 自治事務次官
	江頭 敏明	三井住友海上火災保険株式会社 名誉顧問
	黒岩 祐治	神奈川県知事
	河野 一郎	一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構 代表理事
	小室 一成	国際医療福祉大学 教授 東京大学大学院 医学系研究科 特任教授・名誉教授 一般社団法人 日本循環器協会 代表理事
	斉藤 秀之	公益社団法人 日本理学療法士協会 会長
	佐々木 敦朗	一般財団法人 救急振興財団理事長 元 総務省消防庁 長官
	清水 渉	新東京病院 副院長 兼 不整脈疾患診療特別顧問 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 客員部長
	隅野 俊亮	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	田中 裕	順天堂大学浦安病院 病院長
	中村 史郎	一般社団法人 日本新聞協会 会長
	野口 宏	2005 年国際博覧会記念災害救急医療研究財団 代表理事 愛知医科大学 名誉教授
	早河 洋	一般社団法人 日本民間放送連盟 会長
	樋口 範雄	東京大学名誉教授 武蔵野大学 法学部 客員教授
	平出 敦	明治国際医療大学 保健医療学部 救急救命学科 特任教授
	平田 竹男	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 教授
	布施 達朗	セコム株式会社 専務取締役 社長補佐 広報・渉外・マーケティング本部長兼セコム医療システム株式会社取締役会長
	丸川 征四郎	医療法人 徳洲会 集中治療部顧問 吹田徳洲会病院 救急・集中治療部門長
	南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役・調査研究担当

顧問	武藤 敏郎	株式会社 大和総研 名誉理事 元 大蔵・財務事務次官 元 日本銀行副総裁
AED 大使	青木 まり子	歌手
	有森 裕子	元 プロ女子マラソン選手
	蝶野 正洋	プロレスラー 一般社団法人 NWH スポーツ救命協会代表理事 公益財団法人日本消防協会 消防応援団 日本気象協会推進 熱中症予防 PR 大使
	山本 篤	大阪体育大学 客員教授 株式会社 ブレードアスリート 代表

運営事務局

公益財団法人 日本 AED 財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-13 山手ビル 3 号館 1 階

Office : 03-3253-2111(代表)

【主催】

公益財団法人 日本 AED 財団

【 減らせ突然死 AED 推進フォーラム 2026 事業予算概要 】

	項目	予算（税込）	備考
支出	会場費	400,000	日経ホール
	イベント会社	2,000,000	
	予約システム利用料	40,000	PEATIX 利用料（システム利用料、手数料）
	司会	200,000	
	飲食費	30,000	
	交通費等、諸経費	400,000	
	事務用品、送料	10,000	
	支出計	3,080,000	

本フォーラムは、「AED で命を救える社会」の実現を目指し、医療、教育、スポーツ、行政、企業、市民など多様な関係者が連携して救命文化の醸成を図る公益事業として開催いたします。

開催にあたっては、会場運営費、映像・配信関連費、広報制作費、展示運営費等を含め、総事業費 3,080,000 円を予定しております。

本事業は、日本 AED 財団による事業費負担に加え、企業・団体の皆様からのご協賛により運営しております。ご協賛金は、フォーラムの開催運営費ならびに AED 普及啓発活動の推進に活用させていただきます。

皆様からのご支援は、本フォーラムの開催のみならず、突然死予防と救命文化のさらなる普及・発展につながる大きな力となります。何卒、本事業の趣旨をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【 協賛金の募集について 】

■企業協賛につきまして

本フォーラムは、医療関係者、行政関係者、教育関係者、スポーツ関係者、企業関係者、市民など、多様なステークホルダーが一堂に会し、「AED で命を救える社会」の実現に向けて議論し、行動する全国規模のフォーラムです。

ご協賛いただく企業・団体の皆様には、本フォーラムへの参画を通じて、突然死予防という重要な社会課題の解決に貢献いただくとともに、社会的価値の創出に取り組む企業姿勢を広く発信いただく機会をご提供いたします。

会場での企業展示や広報媒体への掲載を通じて、自社の取り組みや製品・サービスを発信いただくとともに、医療、教育、スポーツ、行政分野をはじめとする関係者との新たな交流・連携機会の創出にもご活用いただけます。

本フォーラムへのご協賛は、公益性の高い救命啓発活動への支援であると同時に、ESG 経営、SDGs への貢献、地域社会の安全・安心の向上に寄与する取り組みとして、企業価値の向上にもつながるものと考えております。

救える命を一人でも多く救う社会の実現に向け、本フォーラムを通じて皆様とともに新たな社会的価値を創造してまいりたいと考えております。

【協賛金の使途】

AED 推進フォーラム運営に関わる費用 （※事業予算概要参照）

【協賛金額】

3つのプラン（10万円、15万円、20万円）をご用意しております。

協賛金額に応じて、企業広告を実施いただけます。各広告内容の詳細は後述をご覧ください。

【HP バナーの掲示】

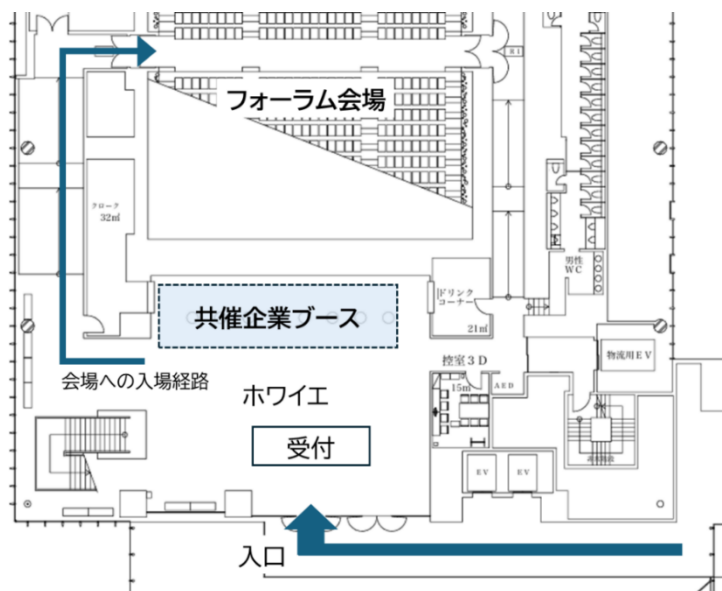
ご協賛頂きました企業様につきましては、弊財団 AED 推進フォーラムホームページに広告バナーを掲載いたします。

【企業展示（ご希望される場合）】

現地での各企業様によるブース出展が可能です。

ブース展示について

下図、会場の出入り口となる空間（ホワイエ）に展示スペースを設けております。スペースに制限があり、手狭で申し訳ありませんが、協賛1口毎に長机1脚（横幅150cm奥行き45cm程度）の提供となります。



協賛プランについて

■基本セット：ブース展示、机（150cm x 45 cm）1台、イス、ホームページ広告バナー

・ プラチナプラン（20万円）

—基本セットに加えて、机2台（300cm x 45cm）スペースへの拡張や、当日の資料配布、フォーラム終了後の意見交換会（懇親会）へのご招待及びお好みの展示場所をお選びいただけるなどの特典をお付けいたします

※展示ブースの配置はお申し込みいただいた数に応じて変更の可能性がございますので、ご了承ください。

・ ゴールドプラン（15万円）

—基本セットに加えて、幕間にスクリーンにスライドを表示（スライド・動画を1分程度）

・ シルバープラン（10万円）

—基本セット

	協賛プラン		
	プラチナ	ゴールド	シルバー
協賛金	20万円	15万円	10万円
企業展示	2コマ	1コマ	1コマ
ホームページへのバナー掲載	○	○	○
当日の幕間の広告投影	○	○	—
当日来場者への資料配布	○	—	—
懇親会への参加(2名)	○	—	—

- ※ ブース出展費用に含まれるもの：会場費、会場附帯設備使用料(机, イス, 照明等)
- ※ 弊財団ホームページへのバナー掲載は協賛いただいたプランごとに掲載いたします。
- ※ 幕間のスクリーンへの広告投影はフォーラム開始前と休憩時間中に投影を行います。
- ※ 当日来場者へ配布する資料は事前にご準備をお願い致します。
- ※ 現地展示の形式については、枠に限りがある関係で、口数の多い順に優先し、口数が同数の場合には先着順とさせていただきますのでご了承ください。(予定 プラチナプラン：3 枠、ゴールドプラン：6 枠、シルバープラン：6 枠)

【協賛金の振込先】

みずほ銀行 (0001)

東京都庁出張所(店番 777)

普通口座番号 1065036

口座名義人 ザイ)ニホン AED ザイダン

2026 年 10 月 31 日を締め切りとさせていただきます。

お力添えいただけますと大変助かります。よろしくお願い致します。

※当申込用紙は E-mail にてお送り願います。

E-mail: info@aed-zaidan.jp

減らせ、突然死 AED 推進フォーラム 2026 事務局 宛

(公益財団法人 日本 AED 財団内)

協賛金申込書

趣意に賛同し、次の通り賛助金の申し込みをします。

(該当する□にチェックをご記入後、金額をご明記下さい。)

☐ プラチナプラン ☐ ゴールドプラン ☐ シルバープラン

金額 _____ 円也

該当する項目にチェック☑を入れてご返答ください。

☐ 協賛企業展示を希望する ☐ 協賛企業展示を希望しない

ご芳名

代表者名 (個人以外の場合)

ご担当者名 (個人以外の場合)

部署 (個人以外の場合)

連絡先の住所 (必須)

電話番号 (必須)

E-MAIL アドレス

お振込み予定日 年 月 日

連絡先：公益財団法人日本 AED 財団

住所：〒101-0047 東京都千代田区神田 2-7-13 山手ビル 3 号館 1 階

振込先：

みずほ銀行 (0001)

東京都庁出張所(店番 777)

普通口座番号 1065036

口座名義人 ザイ)ニホン AED ザイダン



日本AED財団